月刊 しばうら

2021 年 3 月号

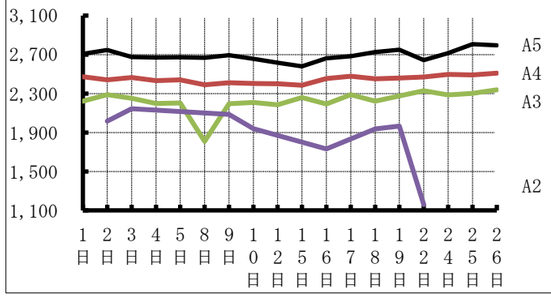
牛肉営業部

＜2 月の相場動向＞

2 月は緊急事態宣言が延長されたうえに不需要期でもあるため、相場が弱含むことが予想されていたが、部分肉は荷動きが鈍ったものの、枝肉相場は底堅く推移する展開となった。

和牛は冷凍保管事業をはじめとする、各種の補助事業に下支えされたうえ、営業日数が少なく上場頭数も減少傾向であったため、下位等級を除き底堅い相場となった。交雑牛においても 1 月に比べると若干下落したものの、弱持ち合い程度の水準であった。

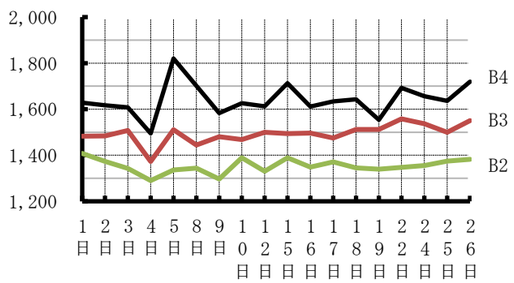
和牛去勢　日別相場表（2 月）



和牛去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
A5	2,700 円	+85 円	103.3%	+7 円	100.3%
A4	2,446 円	+313 円	114.7%	−1 円	99.9%
A3	2,228 円	+321 円	116.8%	−66 円	97.1%
A2	1,879 円	+260 円	116.1%	−141 円	93.0%

交雑去勢　日別相場表（2 月）



交雑去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
B4	1,625 円	−37 円	97.8%	−86 円	95.0%
B3	1,501 円	−1 円	99.9%	−81 円	94.9%
B2	1,348 円	+4 円	100.3%	−70 円	95.1%

乳牛去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
B3	上場なし	—	—	—	—
B2	925 円	−25 円	97.4%	−14 円	98.5%

＜3 月の牛肉輸入量予測＞

財務省の貿易統計によると、2020 年 1 月の輸入通関実績は前年同月比 7.1%減の 4 万 4,016ｔで、内訳はチルドが 2 万 639ｔ（同 0.8%増）、フローズンは 2 万 3,377ｔ（同 13.1%減）となった。チルドは前年並みの数量となったが、外食など業務用が主体となるフローズンで落ち込みが目立っている。

農畜産業振興機構によると 3 月の牛肉輸入数量は、前年比 12.4%減の 4 万 1,700t と予測。チルドは現地価格の高騰や出船の遅れなどにより前年を大幅に下回る 21.7%減の 1 万 9,500t、フローズンは 1.8%減の 2 万 2,200ｔと予測をしている。

輸入牛肉通関量		1 月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	8,557	7,813	109.5%
	米国	10,432	10,686	97.6%
	その他	1,650	1,971	83.7%
	合計	20,639	20,470	100.8%
フローズン	豪州	11,794	11,388	103.6%
	米国	7,134	10,795	66.1%
	その他	4,449	4,729	94.1%
	合計	23,377	26,912	86.9%

出典：食肉速報　　単位：t

＜3 月の全国出荷頭数予測＞

家畜改良センターの個体識別情報によると、2020 年 12 月末現在の全国飼養頭数は前年同月比 1.2%増の 392 万 1,707 頭となった。内訳は黒毛和種が同 1.9%増の 170 万 8,515 頭、交雑牛は 5.5%増の 52 万 2,158 頭、乳牛雄は 6.5%減の 24 万 7,640 頭、乳牛雌は 0.3%増の 136 万 3,268 頭であった。牛飼養施設数は 3.9%減の 5 万 5,172 件となっている。

農畜産業振興機構による 3 月の出荷予測頭数は、全体で前年比 4.6%増の 8 万 8,900 頭と予測している。品種別にみると和牛は 16.8%増の 3 万 9,300 頭、交雑種は 8.0%増の 1 万 9,500 頭、乳用種は 3.1%増の 2 万 8,500 頭としている。

東京市場の 3 月のと畜頭数は 7,300 頭を予定しています。

＜3 月の牛枝肉相場見通し＞

1 都 3 県に発令されていた緊急事態宣言が 2 週間の延長を決定したことで、外食やホテル関係は引き続き厳しい状況となっている。一方で単価は下がったものの数量を伸ばしている輸出事業や、堅調な小売り需要に期待したい。

3 月は営業日数が多く中弛みの懸念はあるものの、政府による補助事業に加え、卒入学などの催事需要も見込まれるため、相場下落の要因は少ないものと思われる。和牛はロイン系の在庫消化が課題となるものの持ち合いか、交雑牛についても量販店などの小売り需要により堅調な相場展開が予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,600～2,700	B4	1,600～1,700
A4	2,400～2,500	B3	1,500～1,600
A3	2,200～2,300	B2	1,300～1,400
A2	2,050～2,150		
乳牛去勢			
B3	1,000～1,050		
B2	900～950		

豚肉営業部

1 月の全国と畜頭数は、前年同月比 1.8%減の 141 万 7,778 頭。また、1 月の豚肉通関数量は 6 万 6,670t（前年同月比 7.8%減）と前年同月を下回り前月比でも 6.8%の減少。内訳はチルドが 3 万 3,515ｔ（0.2%減）、フローズンが 3 万 3,154t（14.5%減）と大きく減少した。

2020-2021 年の需給量と推定期末在庫						
	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
月	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
1	80,864	72,280	21,474	187,738	80,150	66,011
2	73,425	66,987	23,077	185,042	71,714	69,683
3	79,535	67,628	25,062	185,075	77,478	67,595
4	80,239	101,568	23,124	200,821	82,085	85,822
5	71,318	79,864	20,858	214,884	73,523	65,801
6	72,535	79,522	23,208	211,865	70,031	82,541
7	73,967	75,011	21,378	204,074	75,708	82,802
8	68,179	68,431	20,340	200,507	69,117	71,998
9	71,876	65,416	19,685	193,386	72,409	72,537
10	80,156	72,415	19,333	184,855	80,388	80,946
11	79,406	70,497	19,411	175,578	79,178	79,774
12	82,555	71,474	20,414	167,897	81,364	79,155
1	78,800	66,620	22,433	160,131	76,657	74,386
比	97%	92%	105%	85%	96%	113%

出典：農畜産業振興機構　比：最終月の前年同期比　　単位：t

1 月豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	17,890	112.5%	デンマーク	5,338	149.1%
カナダ	14,845	101.6%	スペイン	9,785	188.8%
メキシコ	831	88.3%	メキシコ	8,001	119.9%
			アメリカ	4,337	98.45
			カナダ	2,226	69.15
合計	33,568	106.7%		38,764	127.8%

単位：t

＜2 月の豚取引の推移＞

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1 日	68,000	456	438	812
2 日	68,900	461	442	983
3 日	66,600	469	448	769
4 日	68,900	468	447	812
5 日	67,500	471	455	992
8 日	69,200	493	487	647
平均	68,183/日			836/日

2 月初めに緊急事態宣言が 3 月 7 日まで延長となった。出荷頭数は全国的に安定しているものの、7 万頭を割り込む日が続き上物相場は 400 円台半ばでの推移となった。上中格差も少ない為、締まった展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
9 日	73,800	509	485	1,062
10 日	74,900	532	498	880
12 日	71,500	517	500	958
15 日	65,500	521	494	664
16 日	71,500	495	475	1,061
17 日	70,300	512	478	690
平均	71,250/日			886/日

11 日㈭が祝日で稼働日が少なかったこともあり、1 日あたりの出荷頭数は増加し 7 万頭を超える日も多くみられた。引き続き内食需要は堅調に推移し、相場は上昇傾向となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
18 日	69,800	513	469	902
19 日	70,100	506	446	1,131
22 日	73,000	520	464	798
24 日	74,400	509	452	1,027
25 日	74,200	516	460	933
26 日	71,900	516	450	980
平均	72,233/日			962/日

全国出荷頭数は 7 万頭を大きく上回る日が続いた。一方で相場は 500 円を上回る展開となっており強持ち合いで推移した。

＜3 月の豚枝肉相場見通し＞

農林水産省による 3 月の肉豚出荷予測では 140 万 5,000 頭（前年比 97.9%）と予測している。

当市場の 3 月集荷予定頭数は 1 万 8,500 頭、1 日あたりでは約 804 頭を見込んでいる。

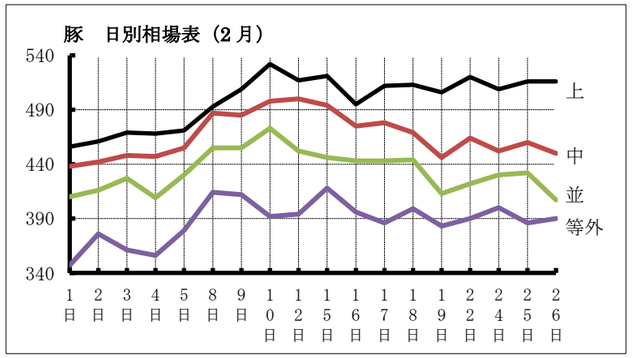
農畜産業振興機構によると 3 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 6 万 5,700t（同 97.1%）、内訳は冷蔵輸入量が 3 万 4,300t（同 96.7%）、冷凍輸入量は 3 万 1,400t（同 97.6%）と予測。

冷蔵品輸入量は、新型コロナウイルス感染症の影響による北米からの入船遅れの影響が引き続き発生していること等から、前年同月をやや下回ると予測する。なお、3 ヵ月平均も前年同期を僅かに下回ると予測する。冷凍輸入量は外食需要が減少する中、例年以上に 4 月に通関を繰り越す動きがあること等から、前年同月を僅かに下回ると予測する。なお 3 ヵ月平均は、前年同期をやや下回ると予測する。

3 月は例年であれば、花見などの行楽需要や歓送迎会などのイベントにより需要が高まる時期となるが、今年は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の再々延長が決定したことで、外食需要の回復は期待できそうにない。引き続き内食需要に支えられる形で、量販店を中心に末端の国産豚肉のニーズは底堅く推移することが予想される。また、供給面では 2 月の早出し出荷の反動がどの程度影響してくるかにもよるが、気温も安定する時期になるため、順調な出荷が期待できる。

以上のことから当市場の上物平均価格は 490 円前後、中物平均価格 460 円前後の展開と予想する。

豚　日別相場表（2 月）



東京都港区港南2－7－19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127